SIM 管理

デバイス ページには **SIM** 管理 パネルがあります。 Android
デバイスでは、デバイスにインストールされている SIM と eSIM プロファイルを管理し、 eSIM
プロファイルを追加または削除し、デバイスに送信された eSIM コマンドの履歴を表示します。会社所有の
iPhone とセルラー iPad では、デバイスから報告された SIM と eSIM
プランを表示し、デバイスが通信事業者によって準備された eSIM
プランをダウンロードできるようにします。詳細は後述の **iPhone** と **iPad** を参照してください。

> SIM 情報は、デバイスポリシーで ネットワーク情報
> の報告が有効になっている場合、完全管理デバイスによって報告されます（このオプションは
> Cerberus Enterprise によって常に有効になります）。 ステータスレポート
> ページを参照してください。

デバイス EID

EID（ eUICC Identifier）は、デバイスの eSIM ハードウェアを識別します。通信事業者はこれを使用して
eSIM プロファイルをデバイスに紐付けるため、 EID の取得は通常、 eSIM
プロビジョニングワークフローの最初のステップです。

- 会社所有デバイス （ Android 13 以降）： EID
  はデバイスステータスとともに自動的に報告され、ユーザーの操作は不要です。
- 個人所有デバイス （ Android 13 以降）： **EID** をリクエスト
  ボタンを使用します。ユーザーのデバイスに、 EID
  の共有を求める通知が表示され、リクエストを承認または拒否できます。 EID
  は、ユーザーが承認した場合にのみ表示されます。リクエストが保留中である間、ボタンは無効の
  ままです。

> EID
> リクエストを送信すると、ユーザーのデバイスに通知が表示されるため、最初に確認ダイアログが表
> 示されます。

インストール済み SIM

インストール済み SIMテーブルには、物理 SIM や eSIM
プロファイルなど、デバイスで現在認識されている SIM
が一覧表示されます。個人所有デバイスでは、デバイスが SIM 情報を報告しない場合でも、 eSIM を追加
コマンドでインストールされた eSIM プロファイルが表示されます。

通信事業者 ： SIM に関連付けられた通信事業者名（報告された場合）。
電話番号 ： SIM に関連付けられた電話番号（報告された場合）。
ICCID：SIM の集積回路カード識別子です。
アクティベーション状態 ： eSIM がアクティブ化されているかどうか。 Android 15 以降の eSIM
についてのみ報告されます。
構成モード ：eSIM が管理者によって構成されたか、ユーザーによって構成されたか。 Android 15
以降の eSIM についてのみ報告されます。
SIM の種類 ：デバイスがそのエントリを eSIM として報告しているかどうかを示します。

削除コマンドが進行中または実行済み（失敗していない）の eSIM には、一時的な 削除中
アクティベーション状態が表示されます。デバイスが更新された SIM
リストを報告すると、エントリはリストから消えます。削除の進行中は、同じコマンドを二重に送信
しないように、削除ボタンは使用できません。

eSIM を削除
インストール済みの eSIM
の横にある削除ボタンを使用して、デバイスからそのプロファイルを削除します。コマンドが送信される前
に、削除する eSIM の ICCID を確認するダイアログが表示されます。 eSIM の削除は Android 15
以降でサポートされています。

eSIM を追加
eSIM を追加 セクションでは、デバイスに新しい eSIM プロファイルをインストールします（ Android 15
以降でサポート）。必要なものは次のとおりです。

有効期間 ：コマンドをすぐに実行できない場合に、そのコマンドが有効な期間。
アクティベーションコード ：通信事業者が提供する eSIM
プロファイルのアクティベーションコード。コード全体を入力することも、 SM-DP+
アドレスのみを入力して、通信事業者がすでに EID
に紐付けたプロファイルをデバイスに検出させることもできます。
アクティベーション状態 ：eSIM
プロファイルをダウンロード後に自動でアクティブ化するか、ユーザーによる手動アクティベーシ
ョンのために未アクティブのままにするか。

コマンド履歴
eSIM を追加セクションの下に、デバイスに送信された eSIM コマンド（ eSIM を追加 、eSIM を削除 、 EID をリクエスト
）の履歴が表示されます。テーブルは並べ替えが可能で、ページネーションに対応しています。一部の行は
展開して、コマンドのパラメーター（アクティベーションコードや ICCID
など）と実行ステータスを表示できます。これには、デバイスで操作が失敗したときの eSIM
エラーの詳細も含まれます。

作成日
コマンド
有効期間
ステータス
エラー ：コマンドの実行で報告された場合に、 eSIM のエラー状態（たとえば ユーザーが拒否 、無効なアクティベーションコード 、ICCID が見つかりません ）を表示します。
実行日

ワイプおよび登録解除時の eSIM ワイプ
コマンドパネルからデバイスをワイプするとき、 eSIM をワイプ フラグで、ワイプ時に eSIM プロファイルを削除するかどうかを制御します。ワークプロファイルを持つ個人所有デバイスでは、このフ
ラグはデフォルトで有効になっています（管理対象の eSIM は削除されますが、個人所有の eSIM は影響を受けません）。同じフラグは デバイスの登録解除 確認ダイアログでも使用できます。

iPhone および iPad
このパネルは、 iPhone と、セルラーデータを報告した iPad（Wi-Fi のみの iPad
にはありません）について、デバイスが会社所有で User Enrollment でない場合にのみ表示されます。デバイスには、デバイス情報とともにセルラー情報が要求されます。要求
のタイミングは、登録時、毎日、 デバイス情報を更新
を実行したとき、所有権が会社所有になったとき、および セルラープランを更新 の数分後です。

デバイス EID：SIM とともに報告された EID
で、通信事業者用にコピーするボタンがあります。デバイスが報告しない場合、ユーザーは設定 >
一般 > 情報で確認できます。
報告済み 、データローミング 、インターネット共有 、モデムファームウェア：デバイスが応答したかどうかと、報告された状態。データローミングとインターネット共有は、

コマンドパネルの デバイス設定 で変更でき、現在の状態も表示されます。
SIM：SIM または eSIM プランごとに 1行（デュアル SIM デバイスでは 2
行）で、デバイスが報告したスロット、そのラベルと種類（デバイスが EID
とともに報告する場合は eSIM、それ以外は SIM カード）、通信事業者（デバイスが別のネットワークでローミングしている場合はツールチップにホーム
通信事業者）、電話番号、 ICCID、 EID、 IMEI、データ通信用および通信用の SIM
、ローミングが表示されます。プランのない eSIM スロットは、 プランなし
としてグレー表示されます。
このデバイスは SIM を報告していません は、デバイスが SIM
なしで応答したことを意味します。 セルラー情報はまだありません
は、デバイスがまだ応答していないことを意味します。 デバイス情報を更新
を使用してください。

電話番号、 ICCID、 IMEI、 EID は個人と回線を識別する情報です。これらは個人所有デバイスや User Enrollment
には要求されません。デバイスが個人所有になると、情報は直ちに削除され、コマンド履歴にある以
前のデバイス情報コマンドの結果では非表示になります。この情報はエクスポートされず、システム
ログにも書き込まれません。

セルラープランを更新

iPhone および iPad は、アクティベーションコードから eSIM をインストールできません。通信事業者は、
eSIM サーバー（ SM-DP+）上で eSIM プランをデバイスの EID
に紐付け（予約）し、そのサーバーのアドレスを提供します。次に セルラープランを更新によって、デバイスは自身を待機しているプランをダウンロードするよう求められます。パネルの
セルラープランを更新 ボタンをクリックすると、コマンドパネルでコマンドが選択され、そこで
通信事業者の eSIM サーバー URLを入力します。

https:// アドレス ：そのまま送信されます。 http://、ユーザー名またはパスワード、あるいは #
部分を含むアドレスは受け付けられません。
ホスト名 （例： smdp.carrier.example）は、 https://smdp.carrier.example
として送信されます。
LPA アクティベーションコード （ LPA:1$server$code、eSIM QR コードのテキスト）：コマンドはコードを伝送できないため、サーバーのみが使用されます。プラ
ンは通信事業者によってデバイスの EID
に紐付けられている必要があり、そうでない場合、デバイスはダウンロードするものを検出できま
せん。

デバイスは、監視対象でない場合でも、ユーザーに確認せずにプランをインストールしてアクティブ化します。コマンド履歴の「成功」は、デバイスがリクエストを承認したことを意味し、プランがインストールさ
れたことを意味するものではありません。インストールには最大 3分かかる場合があり、 Cerberus Enterprise は約 3分後にデバイスに SIM
を再度要求するため、新しいプランがパネルに表示されます。エラー 36001

（デバイスがセルラーシステムに接続できませんでした）、 36002（ eSIM がサポートされていません）、 36003
（セルラーシステムがビジーです。後でもう一度お試しください）については、システムログで説明されています。一度ダウンロードしたプランは再度ダウンロードできません。インストールに失敗した場合は、通信事業者にお問い合わせください。このコマンドは、デバイスページの **Apple** デバイスアクション メニューから複数のデバイスに対して一度に実行することもできます。

Apple が許可していないこと

- アクティベーションコードからの **eSIM** を追加 ：できません。 EID に紐付けられたプランで セルラープランを更新 を使用してください。
- **eSIM** を削除 ： eSIM をリモートで 1つずつ削除することはできません。 **eSIM** データプランを保持する をオフにしてデバイスを消去すると、すべての eSIM が削除されます。単一のプランを停止するには、通信事業者に非アクティブ化を依頼してください 。プランはデバイスに残りますが、接続できなくなります。
- **EID** をリクエスト ：不要です。 EID は会社所有デバイスの SIM とともに取得されます。
- **Mac**にはセルラーまたは eSIM の管理機能はありません。

Revision #8
Created 2026-10-14 07:19:08 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:56:02 UTC by Admin